（別紙様式４）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和2年9月30日※１

（前回公表年月日：平成31年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
日本工学院八王子専門学校	昭和62年3月27日	前野　一夫	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 （電話）　042-637-3111
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人片柳学園	昭和31年7月10日	千葉　茂	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 （電話）　03-3732-1111

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
工業	情報科学専門課程	ＩＴスペシャリスト科 ネットワーク専攻／セキュリティ専攻	－	平成22年文部科学大臣 告示第56号

学科の目的	急速に変化し続けるIT業界の中で活躍できる高いスキルを身につけ、ビジネスで即戦力となる人材を育成。企業が求めるITスキル・ヒューマンスキル・ビジネススキルの３つの期待に応えるためインターンシップやPBL（Project Based Learning）などの体験型授業を通じ、マネジメント能力や業務遂行力を身につけ、３つのスキルをバランスよく兼ね備えた「自ら行動できる社会人」を育てる。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4　年	昼間	3540	2295		3600		
		時間					

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内数）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	238人の内数	2人	4人の内数	13人の内数	17人の内数

学期制度	■前期：4月1日～10月11日 ■後期：10月12日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 Ｓ：90点以上　Ａ：80～90点　Ｂ：70～79点 Ｃ：60～69点　Ｄ：59点以下は不合格　Ｐ：単位認定
長期休み	■学年始：4月1日～ ■夏　季：8月10日～8月15日 8月31日～9月7日 ■冬　季：12月23日～1月8日 ■学年末：3月18日～3月31日	卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。また、精神的な悩み等は、学生相談室のカウンセラーと連携して対応している。	課外活動	■課外活動の種類 IT関連の展示会、海外研修旅行、スポーツ実習、インターンシップ、卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動：　有
就職等の状況※２	■主な就職先、業界等（令和元年度卒業生） 株式会社KDDIエボルバ 東洋通信工業株式会社 ＤＭＭ．ｃｏｍ　Ｇｒｏｕｐ 株式会社ＰＦＵ トランスコスモス株式会社 ■就職指導内容 業界・業種知識、筆記試験、履歴書添削、模擬面接、個別進路相談の教育と指導および不合格者の心理的フォロー。 ■卒業者数　37　人 ■就職希望者数　37　人 ■就職者数　37　人 ■就職率　100.0　％ ■卒業者に占める就職者の割合 ：　100.0　％ ■その他 （令和　元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※３	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報） 資格・検定名／種別／受験者数／合格者数 ITパスポート／③／30人／18人 情報セキュリティマネジメント／③／8人／1人 基本情報技術者／③／37人／14人 応用情報技術者／③／9人／2人 シスコ認定技術者(CCENT)／③／1人／1人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 ・第７回学生スマートフォンアプリコンテスト　奨励賞受賞 ・学生ITコンテスト2019　入賞

中途退学の現状	■中途退学者　9 名　■中退率　4.2 ％　（休学者7名含まず） 平成31年4月1日時点において、在学者212名の内数（平成31年4月1日入学者を含む） 令和2年3月31日時点において、在学者194名の内数（令和2年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 （例）学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 出席不足、学科不一致、進路変更(就職)
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。 担任よる指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。 また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も行っている。
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ・片柳学園入学金免除制度・若きつくりびと奨学金制度・再入学優遇制度・片柳学園奨学金制度・留学生特別給付制度 ・ミュージシャン特待生・スポーツ特待生 ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　有 特定非営利活動法人　私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日）受審 https://www.neec.ac.jp/education/accreditation/
当該学科のホームページＵＲＬ	https://www.neec.ac.jp/department/

（留意事項）

１．公表年月日（※１）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後１か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度７月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

２．就職等の状況（※２）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（２５文科生第５９６号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（１）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が１年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（２）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（３）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

３．主な学修成果（※３）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

１．「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（１）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施。カリキュラム検討メンバーが、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラム(案)を策定し、分科会で検討を進めてカリキュラムに反映させる。またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。

（２）教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各３名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育･学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

（３）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
木田　徳彦	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 人材委員会副委員長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（１年）	①
小塩　利文	株式会社帝京システム　代表取締役	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（１年）	③
小林　誠幸	株式会社第一情報システムズ 産業システム部第１事業部　部長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（１年）	③
前野　一夫	日本工学院八王子専門学校　校長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（１年）	
田嶋　益充	日本工学院八王子専門学校　科長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（１年）	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（１企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（４）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年２回　（3月・9月）

（開催日時（実績））

第１回　2019年9月27日　　10：00～12：00

第２回　2020年2月21日　　14：30～17：00

（５）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

2019年度からスタートしたAIシステム学科のカリキュラムをご覧頂き、委員からもAIは今後特別なものではなくなる、とのご意見から今後のカリキュラムに反映すべき課題についてご意見を頂いた。その中で、クリエイティブなスキルを高めていくことは大切であり、ハッカソンを取り入れた演習はとても学習効果が期待できるとのご意見があった。また、すでに情報処理の業務において、ビックデータを用いた統計、分析、最適化などの作業が進行している実態、および商品の入金や受け取りでのメッセージ認識と分析が画像認識と同様に大切なポイントになりつつあり、日本語の構文解析をAIツールで行い、その結果を情報処理で自動化を進める展開が産業界では期待できるなどのご意見を頂いた。これらの意見をもとに今後のカリキュラム検討の課題とした。

２．「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

ネットワークグループ演習（（株）シンクプラス）とは、コロナ禍の影響で、全員が一斉に教室で受講できない状況の中（教室での授業と自宅からのオンライン接続併用のため）、グループワークをどう進めていけば良いか、そして授業の評価方法や到達目標などについて話し合った。またこれまでの学習状況や成績を考量した作業グループの調整や制作環境の決定などを行った。

システムセキュリティ１、システムセキュリティ２（ＶＴＪ（株））とは、授業で扱う内容について話し合い、対応する脆弱性やそれを解析するツールなどの決定を行った。またオンラインに対応した授業の実施方法や評価方法、学生の指導方法についての話し合いも行った。

IoTもの作り実習（（株）アフレル）では、レゴマインドストームの活用の仕方や、センサーを使用したプログラムの作り方などのアドバイスをいただき、授業内容や到達目標について話し合った。

（３）具体的な連携の例※科目数については代表的な５科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ネットワークグループ演習	学んだ知識や技術を活用し、プロジェクトの立ち上げから設計・構築、テストおよびプレゼンテーションまでの一連のプロセスをグループワークで実施する。	株式会社シンクプラス
システムセキュリティ1	安全なシステムを構築・開発をするための方法や、ネットワークやサーバに潜む脆弱性を見つけるための分析方法やその対処方法を最新のツールを使って学習する。	ＶＴＪ株式会社
システムセキュリティ2	安全なシステムを構築・開発をするための方法や、ネットワークやサーバに潜む脆弱性を見つけるための分析方法やその対処方法を最新のツールを使って学習する。	ＶＴＪ株式会社
IoT実習１	レゴマインドストームを使用し、プログラムの流れを理解する。レゴマインドストームにモーターやセンサーを取り付け、プログラムで制御できる車を作成し、簡易プログラミングツールを利用しながらプログラムの組み立て方を学び、論理的思考力を高める。	株式会社アフレル

３．「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

（２）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「アプリ開発環境（Monaca）ハンズオンセミナー」

（連携企業等：講師　アシアル株式会社　岡本雄樹　様）

期間：2019年9月20日（金）

対象：ITカレッジ教員

アシアル株式会社　岡本雄樹　様　講演

クラウド環境にアクセスするだけで プロジェクトの作成からアプリのリリースまで全ての操作が行える開発環境のMonacaのハンズオンセミナーを行った。また「Monacaを使ったIoT×農業などのプロジェクト活用事例」の紹介もあり、今後の授業について検討していくことを確認した。

②指導力の修得・向上のための研修等
研修名「教育設計図の作成、見直し研修会」
（講師　ITカレッジ　カレッジ長　兒島正広）
期間：2020年3月27日（金）
対象：ITカレッジ教員
現在のカリキュラムの流れを一覧表としてまとめて視覚化し、教育の質の向上と教育方法について意見交換を行うことにより、教員講師の資質や教育ポテンシャル の向上とともに、指導力向上に結び付けることを確認した。

（３）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等
期間：2020年4月20日（金）
対象：ITカレッジ教員
研修テーマは、「Moodleを活用した授業形態を研究テーマにした研修会」

計画通り実施
②指導力の修得・向上のための研修等
期間：2021年3月
対象：ITカレッジ教員
研修テーマは、「オンライン授業における効果的な教育向上セミナー」などをテーマにした講演を検討し実施する予定。
今後も感染症や災害により対面授業が困難な場合においてもオンライン授業による教育方法を学ぶ。

４．「学校教育法施行規則第１８９条において準用する同規則第６７条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（１）学校関係者評価の基本方針
専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。
学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

（２）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（１）教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
（２）学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
（３）教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
（４）学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
（５）学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
（６）教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
（７）学生の受入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
（８）財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
（９）法令等の遵守	(32)関連法令、設置基準等の遵守（33）個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
（１０）社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献（37）ボランティア活動
（１１）国際交流	

※（１０）及び（１１）については任意記載。

（３）学校関係者評価結果の活用状況
Society 5.0を踏まえた教育が必要との意見から、専門分野だけでなくインターネットなどのIT技術を中心に修得できるような学科・カレッジを超えたラボレーションを強化するとともに、コミュニケーションやビジネススキル向上、部分で積極的に勉強するようなアクティブラーニングの環境を整えるため、地域連携事業を積極的に推進する。
コロナ禍でのオンライン授業などに対応するのため、利用し易いIT環境の整備を早急に進めていく。また、対面授業においても専門家からの意見を参考に、感染防止対策に万全を尽くしていく。
教員もコロナ禍における授業体制に対応するスキル向上のため、今年度も引き続き教員の就労環境の改善をはかりながら、自発的な能力開発及び向上を目的とした「学校法人片柳学園職員自己啓発支援制度」を積極的に活用できるよう教員の研修体制を整えていく。
募集活動においては、オンライン面談など将来を見据えた対策も早期に計画する。また、経済的な問題を抱えている学生へは、高等教育の新制度を周知しながら修学継続できるような支援策を計画していく。

（４）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
森　健介	順天堂大学　非常勤講師 （元白梅学園高等学校副校長）	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	学校関連
金子　英明	日本工学院八王子専門学校　校友会会長 (ｾﾝﾄﾗﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ株式会社　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞｬｰ)	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	卒業生／ＩＴ企業等委員
細谷　幸男	八王子商工会議所 事務局長	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	地域関連
三井　隆裕	株式会社ヌーベルバーグ 代表取締役社長	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	クリエイターズ 企業等委員
今泉　裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	ミュージック 企業等委員
才丸　大介	株式会社カオルデザイン 執行役員　企画戦略室　室長	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	デザイン 企業等委員
鈴木　浩之	株式会社田中建設 取締役　建築部長	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	テクノロジー 企業等委員
池田　つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	スポーツ 企業等委員
石川　仁嗣	医療法人社団　健心会 みなみ野循環器病院　事務長	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	医療 企業等委員
宮﨑　豊彦	八王子市私立保育園協会　会長 城山保育園　園長	令和2年4月1日～ 令和3年3月1日（１年）	医療・保育 団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（５）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ　・　~~広報誌等の刊行物~~　・　~~その他~~（　　）　　）　令和2年9月30日

URL　：　https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/

５．「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（１）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

　また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園　財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

（２）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（１）学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
（２）各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
（３）教職員	教員・教員組織
（４）キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
（５）様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
（６）学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
（７）学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
（８）学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
（９）学校評価	学校評価、令和元年度の項目別の自己評価表
（１０）国際連携の状況	
（１１）その他	

※（１０）及び（１１）については任意記載。

（３）情報提供方法

URL:　https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/

授業科目等の概要

（情報科学専門課程ITスペシャリスト科/ﾈｯﾄﾜｰｸ専攻/ｾｷｭﾘﾃｨ専攻）2020年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアデザイン1	就職するに当たっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン２	就職するに当たっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			簿記会計	基礎的な商業簿記の知識を学び、検定試験の合格を目指します。	1・後	30	2	○			○			○	
○			プレゼンテーション	パソコンを使い、多くの人の前で発表する技術を身につけます。	1・後	30	1			○	○			○	
		○	スポーツ実習１	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	1・後	30	1			○		○	○		
○			情報系資格対策講座１	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1・前	30	2	○			○		○		
○			システム設計１	システム開発過程における要求定義から内部設計までに必要とされる要求分析技法、各種設計技法の基礎を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			情報系資格対策講座２	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1・後	60	4	○			○		○		
○			Ｏｆｆｉｃｅ実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試験の科目にもなった表計算ソフトなどのアプリケーション操作を学びます。	1・前	60	2			○	○			○	
○			プログラミング実習１	「プログラミング基礎」をベースに、より実践的なプログラミング技術を学びます。	1・後	60	2			○	○		○		
○			データベース基礎	リレーショナル型データベースの構造や管理機能などデータベースの基礎を学びます。	1・後	60	2			○	○			○	

		○	校外研修１	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。。	1・前	30	1			○		○	○		
		○	校外研修２	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。。	1・後	30	1			○		○	○		
○			ITストラテジ	システム戦略や経営戦略など、ストラテジ分野について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			ITマネジメント	プロジェクトマネジメントやサービスマネジメントなど、マネジメント分野について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			コンピュータ・テクノロジー１	コンピュータの基礎理論などテクノロジ分野について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			コンピュータ・テクノロジー２	システム開発技術などテクノロジ分野について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			アルゴリズムとデータ構造	プログラムを作成する上で重要なアルゴリズムを情報処理試験対策も含めて学習します。	1・前	30	2	○			○			○	
○			IoTもの作り実習	ハードウェアを制御する簡易的なプログラムを作成します。	1・前	30	1			○	○		○		
○			プログラミング基礎	プログラムの基本構造を学び、実際にプログラムを作成します。	1・前	60	2			○	○			○	
○			IoT実習１	ネットワーク経由でハードウェアを制御する簡易的なプログラムを作成します。	1・後	30	1			○	○		○		○
○			Web開発基礎	ブラウザから利用するWebシステムの基礎となる技術を学びます。	1・後	60	2			○	○			○	
○			ネットワーク実習１	LANやWANなどを中心とした基礎的なネットワーク技術を学習します。	1・後	60	2			○	○		○		
		○	資格対策講座１	各種検定資格の対策を行います。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	特別講座１	業界をけん引する企業やリーダーを招いた先端講義を行います。	1・前	15	1	○			○			○	

		○	基本情報対策講座１	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	1・後	45	3	○			○		○		
		○	資格対策講座２	各種検定資格の対策を行います。	1・後	30	2	○			○		○		
		○	特別講座２	業界をけん引する企業やリーダーを招いた先端講義を行います。	1・後	15	1	○			○			○	
○			キャリアデザイン３	就職するに当たっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン４	就職するに当たっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
○			ビジネススキル１	仕事をする際に必要となる、電話の応対、ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立つビジネスマナーを身につけます。	2・後	30	2	○			○			○	
		○	スポーツ実習２	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	2・後	30	1			○		○	○		
○			外国語１	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			外国語２	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
○			情報系資格対策講座３	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2・前	60	4	○			○		○		
○			情報系資格対策講座４	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2・後	60	4	○			○		○		
○			データベース応用	リレーショナル型データベースの構築から操作までを実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○	○			○	
○			Ｌｉｎｕｘ実習１	LinuxOSのインストールや環境設定を行い、Linuxコマンドなどを使った基本操作を学びます。	2・前	60	2			○	○			○	
○			情報セキュリティ	企業の業務システムやコンピュータシステムを安全に利用するために求められる情報セキュリティについて学習します。	2・前	30	2	○			○			○	

○			クラウドコンピューティング	実際の業務でも使用されるクラウドサービスなど、最先端のＩＴサービスを体験します。	2・後	30	2	○			○			○	
○			ネットワーク実習２	TCP/IPプロトコルを中心としたネットワーク技術をより詳細に学習します。	2・前	90	3			○	○		○		
○			IoT実習２	各種センサーを利用したプログラムの企画から開発、テストまでを行います。	2・前	30	1			○	○			○	
○			シスコ認定技術１	シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信プロトコルやネットワーク機器の設定方法について学習します。	2・前	90	3			○	○		○		
○			IoT実習３	各種センサーを利用したプログラムの企画から開発、テストまでを行います。	2・後	30	1			○	○			○	
○			シスコ認定技術２	シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信プロトコルやネットワーク機器の設定方法について学習します。	2・後	90	3			○	○		○		
○			Ｌｉｎｕｘ実習２	LinuxOSを使用してインターネットで利用される様々なサーバを構築します。	2・後	60	2			○	○			○	
		○	基本情報対策講座２	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	2・前	45	3	○			○		○		
		○	資格対策講座３	各種検定資格の対策を行います。	2・前	30	2	○			○		○		
		○	特別講座３	業界をけん引する企業やリーダーを招いた先端講義を行います。	2・前	15	1	○			○			○	
		○	基本情報対策講座３	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	2・後	45	3	○			○		○		
		○	資格対策講座４	各種検定資格の対策を行います。	2・後	30	2	○			○		○		
		○	Webシステム開発	（セキュリティ専攻）Webサーバを中心としたシステム開発技術を学習します。	2・後	90	3			○	○			○	
		○	ネットワーク実習３	（ネットワーク専攻）ネットワーク機器やサーバの利用を想定した実践的なネットワーク構築技術や、安全な通信を行うセキュリティ技術などを学習します。	2・後	90	3			○	○		○		

		○	特別講座４	業界をけん引する企業やリーダーを招いた先端講義を行います。	2・後	15	1	○			○			○	
		○	校外研修３	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2・前	30	1			○		○	○		
		○	校外研修４	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2・後	30	1			○		○	○		
○			キャリアデザイン５	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	3・前	60	4	○			○		○		
○			キャリアデザイン６	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	3・後	60	4	○			○		○		
○			ビジネススキル２	仕事をする際に必要となる、電話の応対、ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立つビジネスマナーを身につけます。	3・前	30	2	○			○			○	
○			ビジネススキル３	仕事をする際に必要となる、電話の応対、ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立つビジネスマナーを身につけます。	3・後	30	2	○			○			○	
		○	スポーツ実習３	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	3・後	30	1			○		○	○		
○			外国語３	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	3・前	30	2	○			○			○	
○			外国語４	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	3・後	30	2	○			○			○	
○			経営戦略とマーケティング	市場調査における効果的な情報収集の手段や収集した情報の分析手法を身に付けます。	3・前	30	2	○			○			○	
○			ネットワークグループ演習	プロジェクトの立ち上げから設計・構築、テストおよびプレゼンテーションまでの一連のプロセスをグループワークで実施します。	3・後	90	3			○	○		○		○
○			システムリサーチ	身の回りにあるコンピュータシステムの仕組みを学び、これからの世の中で必要となるシステムについて検討します。	3・前	30	2	○			○			○	

○			IoT実習４	IoTを活用したサービスは、これまでのWebサービスと比較して、現実空間の状況やユーザーの体験を細かに考慮して開発されている。特定の開発ボードやプログラミング言語ありきで学ぶのではなく、理想のユーザー体験（ユーザーエクスペリエンス：UX）を実現するために、どのような技術を組み合わせるかという思考を身に着けることが、これからのIoT開発人材に必要なスキルである。	3・前	30	1			○	○		○		
○			情報系資格対策講座５	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を学びます。	3・前	60	4	○			○		○		
○			情報系資格対策講座６	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を学びます。	3・後	60	4	○			○		○		
		○	基本情報対策講座４	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	3・前	45	3	○			○		○		
		○	基本情報対策講座５	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	3・後	45	3	○			○		○		
		○	資格対策講座５	各種検定資格の対策を行います。	3・前	30	2	○			○		○		
		○	資格対策講座６	各種検定資格の対策を行います。	3・後	30	2	○			○		○		
○			シスコ認定技術３	シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信プロトコルやネットワーク機器の設定方法について学習します。	3・前	120	4			○	○			○	
		○	Linux実習３	（ネットワーク専攻）LinuxOSを効率よく利用するために高度なコマンドを使用した管理手法を学びます。	3・前	60	2			○	○			○	
		○	Linux実習４	（ネットワーク専攻）LinuxOSを安全に利用するためのセキュリティの設定や仮想化などの応用的な内容を学びます。	3・後	60	2			○	○			○	
		○	特別講座５	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座などを行います。	3・前	15	1	○			○			○	
		○	特別講座６	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座などを行います。	3・後	15	1	○			○			○	

		○	システムセキュリティ１	（セキュリティ専攻）安全なシステムを構築・開発するための方法や、ネットワークやサーバに潜む脆弱性を見つけるための分析手法などを学習します。	3・前	60	2			○	○			○	○
		○	システムセキュリティ２	（セキュリティ専攻）安全なシステムを構築・開発するための方法や、ネットワークやサーバに潜む脆弱性を見つけるための分析手法などを学習します。	3・後	60	2			○	○			○	○
		○	アドバンスドルーティング演習１	（ネットワーク専攻）企業ネットワークの構築と管理に必要となる高度なルータやスイッチの設定を学習します。	3・後	60	4	○			○			○	
		○	アドバンスドルーティング実習１	（ネットワーク専攻）企業ネットワークの構築と管理に必要となる高度なルーターやスイッチの機能を実習で確認します。	3・後	60	2			○	○			○	
		○	ネットワークセキュリティ演習１	（セキュリティ専攻）安全な企業ネットワークの構築と管理に必要となるルータやスイッチの設定などを学習します。	3・後	60	4	○			○			○	
		○	インターンシップ１	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	3・後	30	1			○		○		○	
		○	ネットワークセキュリティ実習１	（セキュリティ専攻）安全な企業ネットワークの構築と管理に必要となるルータやスイッチの機能を実習で確認します。	3・後	60	2			○	○			○	
		○	インターンシップ２	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	3・後	150	5			○		○		○	
		○	インターンシップ３	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	3・後	300	10			○		○		○	
		○	校外研修５	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	3・前	30	1			○		○	○		
		○	校外研修６	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	3・後	30	1			○		○	○		
○			キャリアデザイン７	集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4・前	90	6	○			○			○	
○			キャリアデザイン８	集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4・後	90	6	○			○			○	

		○	スポーツ実習４	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	4・後	30	1			○		○		○	
○			情報系資格対策講座７	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を学びます。	4・前	45	3	○			○			○	
○			情報系資格対策講座８	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を学びます。	4・後	90	6	○			○			○	
○			ネットワークプロフェッショナル３	インターネットワーキングに必要な高度な知識を学びます。	4・前	60	4	○			○			○	
		○	基本情報対策講座６	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	4・前	45	3	○			○			○	
		○	基本情報対策講座７	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	4・後	45	3	○			○			○	
		○	資格対策講座４	各種検定資格の対策を行います。	4・前	30	2	○			○			○	
		○	特別講座４	様々な講師陣による特別講座を行います。	4・後	15	1	○			○			○	
		○	インターンシップ４	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	4・後	30	1			○		○		○	
		○	インターンシップ５	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	4・後	150	5			○		○		○	
		○	インターンシップ６	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	4・後	300	10			○		○		○	
○			セキュリティ実習２	シスコシステムズのルータやスイッチを用いたセキュリティ実習を行います。	4・前	60	2			○	○			○	
○			アドバンスドルーティング２	中小規模ネットワークの構築・管理に必要な高度なルータやスイッチの設定について学びます。	4・前	60	2			○	○			○	
		○	校外研修７	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	4・前	30	1			○		○		○	

		○	校外研修８	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	4・後	30	1			○		○		○	
○			卒業制作１	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	4・前	180	6			○	○			○	
○			卒業制作２	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	4・後	270	9			○	○			○	
合計				108 科目	5895単位時間（273単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目3090時間(152単位)および選択科目450時間(19単位)以上取得し、合計3540時間(171単位)以上取得すること。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。